

行田市忍川浸水対策連絡協議会



令和8年7月2日(木)14時00分～

設置要綱について(再掲)

目 的

令和元年東日本台風により、一級河川忍川の越水、溢水等により甚大な被害を受けた地域の浸水対策を推進するため、市及び地域の住民が相互に連携を図り、情報を共有することを目的とする。

組 織

○関係自治会の会長（12自治会）

・第二旭 ・向友会 ・緑町 ・一佐間 ・二佐間 ・佐間神明 ・佐間三間
・下忍区 ・堤根区 ・樋上区 ・南駒形 ・下忍団地

○行田市（部長級6名）

・建設部長（座長） ・技監 ・危機管理監 ・都市整備部長 ・環境経済部長 ・総合政策部長

○オブザーバー（2機関）

※技監は令和7年4月1日より

・埼玉県行田県土整備事務所 ・独立行政法人水資源機構 利根導水総合管理所

所掌事項

○忍川整備に関する

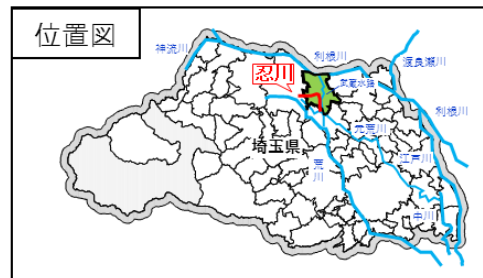
・情報共有 ・地域の意見集約 ・その他忍川整備の促進に必要な事項

浸水対策事業の概要(再掲)

浸水対策重点地域緊急事業【利根川水系忍川】(埼玉県・行田市)

浸水重点

埼玉県行田市の利根川水系忍川では、令和元年東日本台風により、床上浸水55戸、床下浸水194戸の甚大な浸水被害が発生。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、調節池の整備、河道掘削、校庭貯留等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



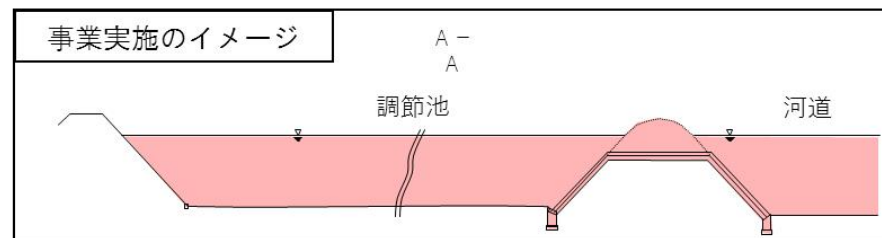
【全体計画】

河川名 : 利根川水系忍川
事業内容 : 調整池、河道拡幅、
橋りょう架換
用地買収、校庭貯留
など
施工地 : 行田市

浸水戸数		
地区名	床上 浸水(戸)	床下 浸水(戸)
合計	55	194

※令和元年東日本台風による浸水被害

※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性もある。
※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の使途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。



- 〈県・市の独自事業〉
- 県単独事業
・県：樹木伐採・土砂掘削、堤防整備
 - ソフト対策
・県：中高頻度の水害リスク情報図作成
・市：マイ・タイムライン作成
 - 適切な維持管理
・県：定期的な土砂撤去等
 - 流域対策
・市：田んぼダム、市街化調整区域の浸水リスクが高いエリアにおける開発許可の厳格化



R3.3.30
国・県の記者発表資料を一部修正

行田市の取組について (経過報告)

忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

校庭貯留

②

田んぼダム

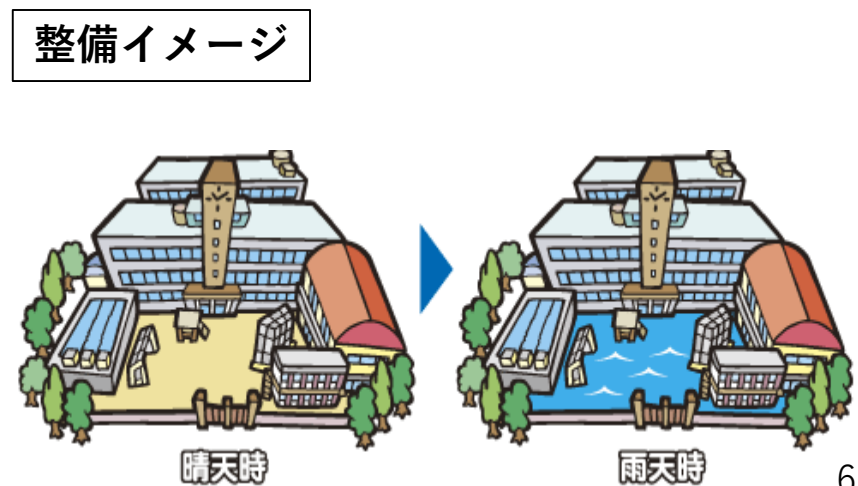
③

各種防災行動に係る啓発の実施

○小学校4か所【忍、南、西、泉】において実施予定

令和8年度は泉小学校の工事を実施します

	貯留量(予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
忍小学校	967m ³	実施設計	工事				
南小学校	834m ³		実施設計	工事			
西小学校	821m ³			実施設計		工事	
泉小学校	(1280m ³)				実施設計		工事



忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

校庭貯留

②

田んぼダム

③

各種防災行動に係る啓発の実施

田んぼダム経緯

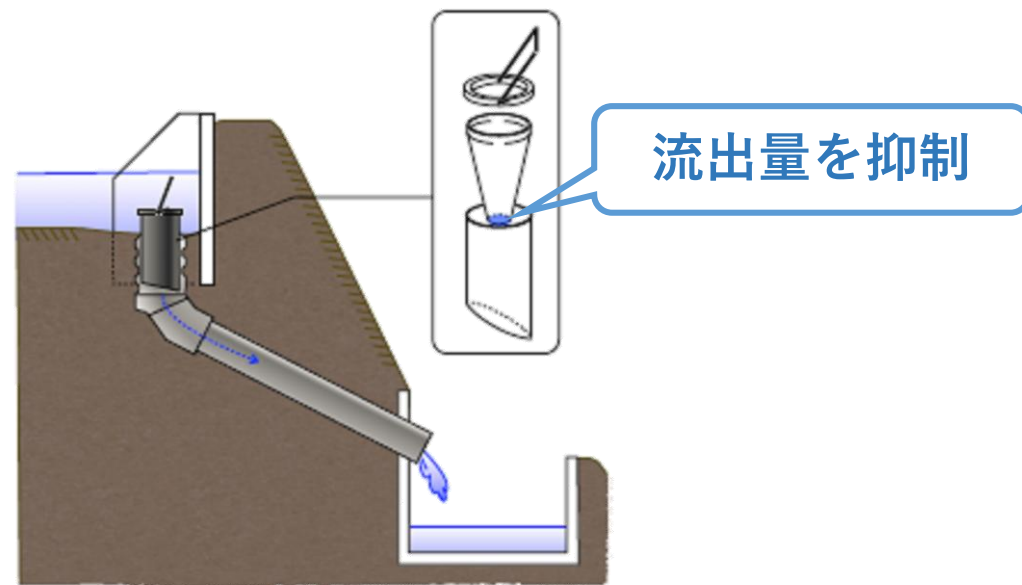
令和2年7月に市内17の多面的機能活動組織に田んぼダムへの取り組み依頼を行い、田んぼにある排水管を止水し雨水を貯留する方式で実施したところ、その運用過程において、大雨が予想される前に排水管を止水する操作が必要であり、協力者である農家の負担が大きいことが課題として明らかになりました。

こうしたことから、地元の負担軽減を図り治水効果を高めることを目的に、令和4年度から令和7年度において、星宮地区内の農地約43haに田んぼダム用水位調整管を設置しました。

田んぼダムのイメージ



田んぼダム用フリードレーン



※管流入部の口径15cm、管流出部の口径を5cmとし、田んぼからの流出量を抑制し洪水被害を軽減。

管を上下にスライドすることにより、営農のための田んぼの水位をコントロールする仕組み

(水位調整管は塩化ビニル製)

忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

① 校庭貯留

② 田んぼダム

③ 各種防災行動に係る啓発の実施

(1) 忍川浸水対策連絡協議会情報伝達訓練

令和8年6月18日(木)、19日(金)に、台風の接近を想定し、忍川浸水対策連絡協議会の委員に対して、情報伝達メールの送信を行った。

【主な内容】 台風接近に伴う注意喚起、気象災害への備え、佐間水門の開閉

(2) 行田市まちづくり出前講座

災害発生時の対応や備えについて、危機管理課職員が講演を行った。

【令和7年度実施回数】 43回 (参考 令和6年度：39回)

【主な内容】

「マイ・タイムライン」の啓発、水害対策に特化したDVDの上映及び解説、
行田市の地域特性を反映した講座の実施、起震車による地震体験、防災クイズ など

【忍川浸水対策連絡協議会構成自治会実施状況】

令和7年度：第二旭自治会 (R7.6.15)

佐間神明自治会 (R7.7.12)

佐間公民館事業(R7.9.18)

佐間公民館事業(R8.1.15)

令和8年度：佐間公民館事業(R8.8.20予定)



第二旭自治会(R7.6.15)(起震車教育)

(3) 行田市防災士研修会

令和8年2月14日、商工センターにおいて、防災士の知識と技能の向上を目的とした防災士研修会を実施した。

また、自治会の皆様にもご参加いただき、防災士と地域との交流の機会の創出することで、地域防災力のさらなる向上を図った。

【主な内容】

石巻市防災士協議会会長 井上達彦氏の講演
(参加者102名)

【忍川浸水対策連絡協議会構成自治会】

6自治会より9名参加



防災士研修会(R8.2.14)

(4) 武蔵水路内水排除情報伝達訓練

令和8年5月27日、荒川大規模洪水による武蔵水路の内水排除中止を想定した関係機関との情報伝達訓練を行った。

【参加機関】

水資源機構利根導水総合管理所、荒川上流河川事務所、行田県土整備所、北本県土整備事務所、鴻巣市、行田市

【主な内容】

荒川及び忍川の水位を想定した情報伝達



行田市の安全・安心のため
全力で取り組んでまいります

問合せ先：協議会事務局（道路治水課）
556-1111（内線5731） doro@city.gyoda.lg.jp